

3. 公共施設再配置 計画書P127(全体30年)の一覧の中で見直しをするもの

(9) 小中学校の長寿命化

①施設の基礎情報

施設名	施設類型	施設規模・建物						利用・運営状況(令和3年度)				備考
		敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年	経過年 (R4現在)	大規模改 修期(建築 後30年)	更新期(建 築後65年)	施設概要	児童数 (人)/学 級数(人)	歳出 (千円)	歳入 (千円)	
大仁北小学校	学校(小学校)	16,963.5	4,375	1984 (昭和59)	38	2014 (平成26)	2049 (令和31)	校舎(普通教室、特別教室〔音楽室、家庭科室、料理室、図工室、図書室等〕) 屋内運動場、プール など	236/11	70,276	21,677	
長岡中学校	学校(中学校)	45,096	8,995	1984 (昭和59)	38	2014 (平成26)	2049 (令和31)	校舎(普通教室、特別教室〔音楽室、理科室、美術室、図書室等〕) 職員室、給食室 屋内運動場、プール など	385/15	19,624	0	
葦山中学校	学校(中学校)	22,443.96	6,570	1985 (昭和60)	37	2015 (平成27)	2050 (令和32)	校舎(普通教室、特別教室〔音楽室、理科室、美術室、図書室等〕) 職員室、給食室 屋内運動場、プール など	484/16	19,666	0	

②見直しの内容

《凡例》  :見直し前  :見直し後  :解体・売却等

見直し前(現行の計画を要約したもの)

見直し後

前期 (2016(平成28)~ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)~ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)~ 2045(令和27)年度)
		大仁北小学校
		長岡中学校
葦山中学校(旧技術棟)		葦山中学校
<p>●再配置の手法、時期、位置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 大仁北小学校は更新期である後期に、現在の位置を基本として段階的・計画的に再配置を図る。 長岡中学校と葦山中学校の更新期は後期であることから、更新期(後期)に現在の位置を基本として再配置を図る。 <p>●再配置後の面積削減の考え方</p> <p>施設の更新にあたっては、児童・生徒数の推移などを踏まえ必要規模を算出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再配置前 施設数=3 延床面積=19,940㎡ 再配置後 施設数=3 延床面積=12,028㎡ 		

前期 (2016(平成28)~ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)~ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)~ 2045(令和27)年度)
葦山中学校(旧技術棟)		
<p>●再配置の手法、時期、位置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 大仁北小学校は、再配置までの間は、空き教室などの有効活用を検討する。 長岡中学校と葦山中学校は、再配置までの間は、空き教室などの有効活用を検討する。 <p>●再配置後の面積削減の考え方</p> <p>葦山中学校(旧技術棟) 307㎡のみ削減済。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再配置前 施設数=3 延床面積=19,940㎡ 再配置後 施設数=3 延床面積=19,633㎡ <p>※葦山中学校(旧技術棟)は、安全性の面から、2017(平成29)年度に施設を廃止・解体した。</p>		

③見直しの理由

- 小学校・中学校は、令和2年度末に策定した「学校施設長寿命化計画」により、更新の時期を建築後60年から65年に延長した。

参考：伊豆の国市学校施設長寿命化計画(計画書P1～P3抜粋)

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

①背景

伊豆の国市の学校施設は、昭和40年代から60年代の急激な人口増加に伴う児童生徒数の増加にあわせて合併前旧町それぞれで集中整備され、令和元年度末時点で市が保有する公共施設の延床面積の46%以上の面積を有している。児童生徒数は平成に入り横ばいの状態が続いたが、近年では徐々に減少傾向となっている。市では、平成20年7月に「伊豆の国市教育施設整備計画」(以下「整備計画」という)を策定し、大仁中学校の校舎改築を始め、各小学校、中学校で、施設の老朽化対策や当時開始した総合的な学習などの教育内容の多様化に対応するための整備を行ってきた。

しかし、整備計画策定後10年以上が経過し、当時対象とした学校施設はもとより、給食調理場や学校給食センターなどの施設も老朽化が進み、子どもたちを取り巻く教育環境に支障が出ていること、また、教育内容や使い勝手の変化に伴い、内部の改修等の必要性が生じている。

②目的・位置づけ

「伊豆の国市学校施設長寿命化計画」(以下「本計画」という)は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的観点で捉え、従来の建築後50年未満で改築する考え方を变え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修するとともに、教育環境の質的改善も考慮しながら、改修・建替え等を検討するための詳細診断の優先順位を設定しつつ、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定する。

なお、本計画は伊豆の国市総合計画や伊豆の国市公共施設等総合管理計画(平成28年3月)を上位計画とし、学校施設を対象とした個別施設計画として位置づける。

③計画期間

鉄筋コンクリート造建物の長寿命化目標である築後65年を、令和12年以降に迎える学校が相次いで存在し、その後は建替えを含めた検討が必要なことから、本計画は令和2年度から令和11年度までの10年間を長寿命化整備保全計画期間とする。また、本計画については必要に応じて随時見直すこととし、おおむね5年ごとには総合的に見直しをすることとする。

④対象施設

学校教育施設	施設数	施設名
小学校	6校	長岡南小学校 長岡北小学校 葦山小学校 葦山南小学校 大仁小学校 大仁北小学校
中学校	3校	長岡中学校 葦山中学校 大仁中学校
幼稚園	5園	長岡幼稚園 共和幼稚園 富士美幼稚園 のぞみ幼稚園 田京幼稚園

学校教育施設のうち、計画の対象となる構造物等は、校舎・園舎、体育館、プール、屋外トイレなどとする。

学校給食施設	施設数	施設名
共同調理場	3施設	伊豆長岡学校給食センター 大仁学校給食センター 葦山南小学校給食施設
個別学校給食施設	2施設	葦山中学校給食施設 葦山小学校給食施設

